

きび美ミュージアム開館記念展Ⅲ
— 2021年9月29日(水)～12月26日(日) —

初公開
花鳥風月の名手、
木村丈夫

土器備と出会おう

陶

刀

書

画




きび美
ミュージアム
kibibi museum

kibibi
museum



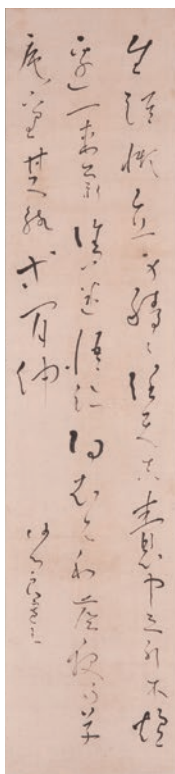
きび美ミュージアム開館記念展 Ⅲ 吉備と出会う

—— 初公開 花鳥風月の名手、木村丈夫 ——

期間 2021年9月29日(水)～12月26日(日)

※会期中、一部展示替えを行います

きびのくに
竹林庭園を抱く静かな空間で、郷土「吉備国」ゆかりの幅広いジャンル^{きびのくに}の文化財を通して、先人の優れた技や知恵、また美意識や世界観と出会ってください。



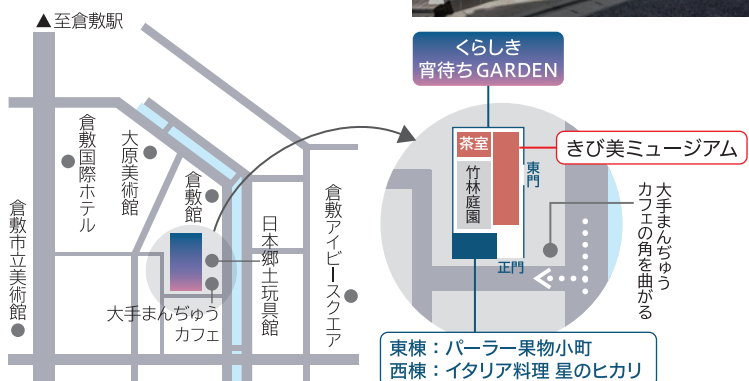
左 上段：寺松国太郎《京美人》
下段：木村丈夫《五位鶯図》
中央：良寛《無題五言律詩》
右：《備前 玉垂れ大壺》



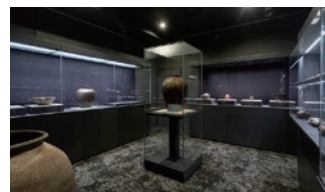
表面上から 《太刀 銘「宗貞」》(県指定重要文化財)、《弥生大壺》、寂庵《表凱「京師得家書」》、木村丈夫《梨花とほろほろ鳥》

倉敷美観地区へのアクセス

- 倉敷ICから車で 約15分
- 早鳥ICから車で 約15分
- JR倉敷駅から徒歩 約15分



1階 とうとう 刀陶の間



「吉備の真髓と出会う」をテーマに考古遺物、備前焼、刀剣を展示します。考古遺物は倉敷市酒津出土の弥生土器や円筒埴輪、備前焼は須恵器から近代細工物まで、その歴史を厳選した作品をご紹介します。刀剣は希少な上古刀や妹尾鍛冶《太刀 銘 宗貞(むねさだ)》(岡山県指定重要文化財)をご覧ください。

2階 かんぼく 翰墨の間



「詩思筆才」をテーマに、吉備ゆかりの書画を紹介しています。開館記念展の第3弾は、日本画家・木村丈夫(きむらじょうふ)の特集展示を行います。木村は明治33(1900)年、早島町に生まれました。豊かな色彩感覚を発揮して瑞々しい花鳥風月を描き出し、戦前の帝展、新文展などで入選を重ねます。没後、遺族が保管していた作品のほとんどを、縁あって当ミュージアムで譲り受けました。その中から秀作《梨花とほろほろ鳥》等を初公開致します。これまでまとって紹介される機会がなかった木村丈夫の、知られざる実力に触れて頂く初めての機会です。(会期中、展示替えを行います)

2階 ゆうさい 有彩の間



「百花生ず 吉備彩描」をテーマに、地元作家の油彩画を紹介しています。このたびは装いを新たに、戦前戦後を通じて昭和期に異彩を放ち続けた倉敷市本町生まれの画家・河原修平(かわはらしゅうへい)と、倉敷市平田の出身で関西油彩画壇の重鎮として活躍した寺松国太郎(てらまつくにたろう)のコレクションから、魅力的な女性像を展覧します。

開館時間	10:00～18:00 (入館は17:30まで)
休館日	月、火曜日(祝日の場合は振替) ※年末年始、展示替などの臨時休館日についてはその都度Webサイトでお知らせします。
入館料	一般 700円 中学生 500円 小学生 300円 ※Eチケットを当館Webサイトで販売しております。 ※10名以上の団体は2割引 ※車椅子の方が入館される際の介助者は無料

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、館内滞在人数を30名程度に制限させていただきます。ご協力をお願い申し上げます。

吉備と出会う 吉備に恋する



一般財団法人 倉敷山田コレクション きび美ミュージアム
〒710-0046 岡山県倉敷市中央1丁目4-22 「くらしき宵待ちGARDEN」内
TEL: 086-425-8080 FAX: 086-425-8181 ✉ info@kibibi.or.jp
https://kibibi.or.jp

